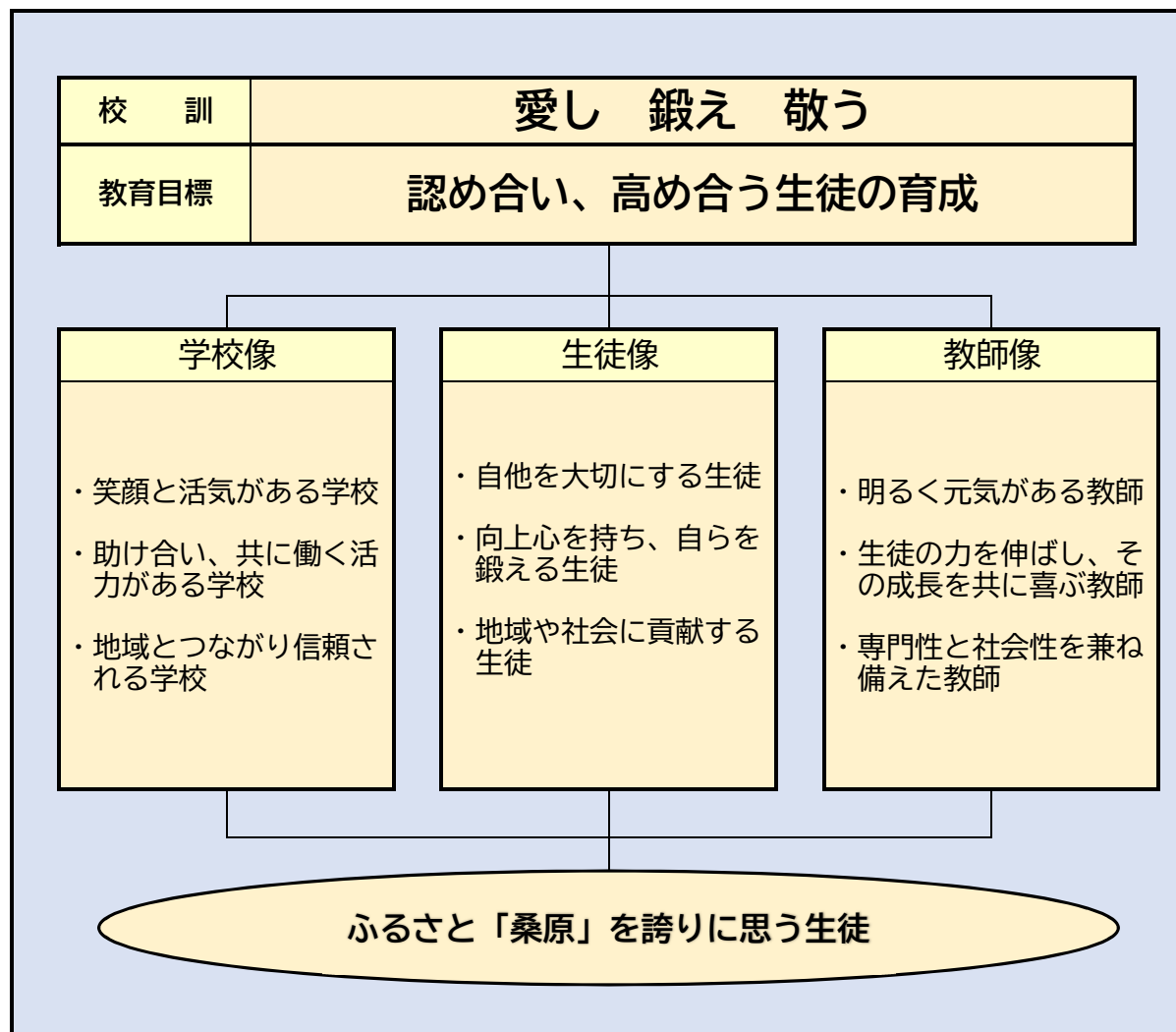


令和7年度 教 育 計 画						学校番号	中23
松山市立桑原中学校							
校長名	玉井 志伸	学級数	19 (内特別支援4)	生徒数	564	教職員数	33



家庭・関係機関
P T A ・ 教育後援会 ・ おやじの会 ・ 公民館 ・ まちづくり協議会 他関係機関 桑原地区コミュニティ・スクール (桑原地区地域学校協働推進協議会)

重点目標	1 確かな学力（学力向上） (1) ユニバーサルデザインの授業、「松山の授業モデル」を実践し、学力の定着・向上を図る。 (2) 読書活動を推進する。 (3) 障がいに応じた教育課程の編成と指導・支援の工夫を図る。 2 豊かな心（仲間づくり） (1) 挨拶の励行と仲間づくりを意識した学級活動・生徒会活動を推進する。 (2) 互いに認め合い、高め合う集団づくりにより人権意識の高揚を図る。 (3) 道德教育やキャリア教育の充実を図り、地域社会に貢献できる生徒を育てる。 3 健やかな体（鍛える） (1) 自己管理能力を育成し、よりよい生活習慣を確立する。 (2) いじめ、不登校に迅速かつ的確に対応する。 (3) 心と体を鍛える部活動を推進する。
管理運営	1 人的管理 (1) 若年教職員の育成とミドルリーダーを中心とした機能的な組織の構築 (2) 服務規律の遵守と危機管理体制に関する教職員の共通理解と行動 (3) 生徒と向き合う時間を確保するための働き方改革の推進と教職員の心身の健康の保持増進 2 物的管理 (1) 日常的な安全管理の徹底による安全・安心な教育環境の整備 (2) 施設・備品・資料等の管理と有効活用 (3) I C T運用体制の整備と適切な活用 3 事務管理 (1) 組織的な事務処理体制による正確で迅速な事務処理の推進 (2) 会計事務の厳正な執行と管理 (3) 情報セキュリティポリシーの遵守及び正確な情報の収集と発信
本校教育の特色	本校は創立42年目を迎える豊かな自然と文化、人財に恵まれた学校である。校区には地域のシンボリック的存在である淡路ヶ峠をはじめとする豊かな自然があり、国立大学やその附属高校、私立大学・短期大学がある文教地区でもある。また、公民館やまちづくり協議会、おやじの会との協力体制も確立できており、人と人とのつながりを体感できる環境も整っている。令和5年度には、学校と地域社会の協働による持続可能な教育を構築するために、桑原地区コミュニティ・スクール（桑原地区地域学校協働推進協議会）を設立した。 生徒・家庭・教職員がよりよい人間関係を築くことで、生徒に充実した学校生活を提供するとともに、家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、多様な人々が有効に関わり合う学びの場を確立していくことで、未来を拓くために必要な資質・能力の育成を目指す。